



平成 28 年 4 月 28 日

各位

会社名 日本高周波鋼業株式会社
代表者 取締役社長 河瀬 昌博
(コード番号 5476 東証 第1部)
問合せ先 取締役管理部長 湖東 彰弘
(Tel 03-5687-6026)

2016～2020 年度グループ中期経営計画について

今後の需要環境は、海外では、これまで成長セクターであった中国他新興国の成長鈍化や原油市況の低迷、国内では、少子高齢化に伴う需要減や為替の変動などにより、不透明な状況が続くものと考えております。

こうした環境の中、日本高周波鋼業株式会社（社長：河瀬 昌博）は、この度 2016 年度から 2020 年度までの連結中期経営計画：「CHANGE (**Challenge And Generate**) 20」を策定いたしました。


1. 経営方針

当社グループは、工具鋼、特殊合金の非量産型高級特殊鋼製品、鋳鉄製品及び金型・工具製品の製造販売を通じ、幅広い産業分野(自動車、エレクトロニクス、産業機械、エネルギー、住宅他)へ優れた製品を提供して顧客及び社会に貢献してまいります。

2. 中期基本方針 (20 年度 VISION)

当社グループは、強靱な事業体質と安定した収益体質の構築に向け、企業体質を変革させてまいります。既存事業の更なる強化と将来の成長戦略展開の為、「挑戦」と「創造」に邁進いたします。

2020 年度 VISION

“CHANGE (Challenge And Generate) 20 “		
【ビジョン】 ※企業体質の CHANGE ◆安定した収益体質 ◆強靱な事業体質		【コンセプト】 ※挑戦(Challenge)と創造(Generate) ◆既存事業の更なる強化 ◆将来の成長戦略の展開
【基本方針】 ◇ブランド力向上—高付加価値の推進、 独自性の追求 ◇事業領域の拡大	◇Q (品質)、C (コスト)、D (納期) 競争力の強化 ◇KOBELCO グループにおける役割強化	

3. 数値目標

中期最終年度(2020年度)での達成目標

(連結ベース)

単位：億円

	‘15年度 実績	‘16年度 計画	‘20年度 中期計画
売上高	383	365	450程度
売上高経常利益率	4%	3%	5%以上

4. 事業セグメント別重点施策

(1) 特殊鋼セグメント

① 高付加価値製品の拡大

工具鋼は高級金型用鋼、素形材を重点分野として拡大を図ってまいります。

(主要な取組み)

- ・自動車冷間プレス金型用鋼の拡販と自動車部品のプレス成形への対応強化
(表面処理の強化等)
- ・海外を主体としたアルミ押出金型用鋼の拡販
- ・高級プラスチック金型用鋼の拡販ならびに更なる高機能化
(高耐食、高耐磨耗等)

特殊合金は小ロット対応力を活かした溶材、特殊品分野での需要の取り込みに加え、高機能自動車部材への拡販を推進いたします。

(主要な取組み)

- ・当社の強みであるマルテンサイト系ステンレスでのピストンリング材、及び耐熱鋼等の二次加工製品の拡大

また、工具鋼、特殊合金の拡販支援の為、要員増強により技術サポート機能を強化してまいります。

② コスト競争力強化

共通的な製造コスト低減と重点製品の製造コスト低減に向け、設備投資を積極的に実施いたします。

(主要な取組み)

- ・省エネ投資や分塊ミルの改造更新等による既存製品のコストダウン推進
- ・分塊ミルの改造更新による対応製品拡大と新規需要取り込み

③ 技術開発の推進

2016年度以降の事業の柱となる製品の創出を図ってまいります。また、生産技術も継続して強化してまいります。

④ 品質の向上

設備管理の徹底により操業トラブル起因の不良損失低減を図るとともに、計測装置の導入推進により品質の見える化を強化し品質の向上に注力いたします。

⑤ 安定生産の維持

設備管理機能強化(要員増強他)により故障リスクの低減に努めます。また、重要予備品の充実により、重大故障発生時の休止期間のミニマイズ化を図ってまいります。

⑥ KOBELCO グループとしての役割強化

小ロット特殊品の取り込みを進めてまいります。

(2) 鋳鉄セグメント

事業基盤を整備し、安定的に売上高 100 億円を超える事業規模を目指すとともに品質及びコスト競争力の強化により収益力を強化してまいります。

(主要な取組み)

- ・ 新規需要家及び新規品の受注拡大
- ・ 新生型造型設備の最大効果の追及
- ・ 老朽設備の更新等による品質・生産性の改善

(3) 金型・工具セグメント

高付加価値製品の拡販に加え、設計から一貫したツーリングメーカーへの展開を図るとともに、設備投資によりコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

(主要な取組み)

- ・ 超精密加工製品の拡販
- ・ 設計及び設計一貫金型事業の新規展開
- ・ 加工能力の強化と生産性の向上

5. 企業基盤強化

当社グループの行動規範である「社会と共生し、信頼される企業グループを目指す」を念頭に置き、安全活動、環境保全、防災対策、リスクマネジメント体制を強化するとともに、組織の活性化による明るい風土作りを図り、人材確保と育成に注力し企業基盤を強化してまいります。

(主要な取組み)

- ・ コーポレートガバナンス・コードに依拠したガバナンス体制の強化
- ・ コンプライアンス体制、リスク管理体制、財務報告の信頼性を確保する体制の継続強化
- ・ 女性及び再雇用者の活躍推進(ダイバシティへの対応)
- ・ 教育の充実

以上

(御参考)

セグメント別中期経営計画目標数値

単位：億円

	売上高		
	‘15年度 実績	‘16年度 計画	‘20年度 中期計画
特殊鋼	279	267	330
鋳鉄	83	77	105
金型・工具	21	21	25
合計	383	365	450程度

特殊鋼セグメントの高付加価値製品比率拡大(売上ベース)

単位：%

	‘15年度 下期	‘16年度 計画	‘20年度 中期計画
高付加価値製品売上比率			
・工具鋼	45%	50%	65%
・特殊合金	75%	75%	85%

16～20年度中期設備投資計画(発注ベース)

単位：億円

	特殊鋼	鋳鉄 金型・工具	合計
戦略投資(※)	80	15	95
更新投資	50	20	70
合計	130	35	165
減価償却費	80	20	100

※戦略投資：拡販、品質改善、コストダウン、生産性向上、他

以上